

2 看護学類の科目配当

(3) 養護教諭教育課程科目配当表

【凡例】  
 ●：必修科目 ●養：養護教諭教育課程必修科目 ○：推奨科目 国：国際看護プログラム関連科目  
 国○：国際看護プログラム選択推奨科目 災：災害看護プログラム関連科目 FC：フレッシュマンコア  
 GC：グローバルコミュニケーション SS：ソーシャルサイエンス NS：ナチュラルサイエンス AS：アートサイエンス

科目区分	1 年次				2 年次				3 年次				4 年次				卒業要件		
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期				
	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位	履修 科目名	単 位			
基盤教育科目	FC	必修	● 社会の中で生きる ● スタートアップ・セミナー ● 地域フィールドワーク ● テータサイエンス入門 ● 英語 English Reading Skills I ● 英語 English Self-Expression I	1 2 2 2 1 1	● アカデミック・セミナー ● 情報化社会と技術 ● 英語 English Reading Skills II ● 英語 English Self-Expression II	2 2 1 1	留學生は11単位必修	● 英語 English for Academic Purposes I ● 英語 English Self-Expression III	1 1	留學生は2単位以上 選択必修							必修を含めて25単位以上 修得		
		GC	● 国 Intercultural Communication ● Global Studies I ● 中国語 I ● 韓国語 I ● ベトナム語 I	2 2 1 1 1	● Global Studies II ● 中国語 II ● 韓国語 II ● ベトナム語 II	2 1 1 1	● 国 English for Academic Purposes II ● Extensive Listening	1 1										指定なし	
	SS	● 日本の歴史と文化 ● 現代社会と哲学 ● 人と宗教 ● 心理学	2 2 2 2	● 世界の歴史と文化 ● 東北の歴史と文化 ● 現代社会の諸相 ● 憲法 ● 社会と経済	2 2 2 2 2													2単位以上 修得	
	NS	● 数理科学 ● 生命科学 ● 数学概論 ● 物理概論 ○ 化学概論 ○ 生物概論	2 2 2 2 2 2	● 環境科学入門 ● 地球と宇宙 ● 基礎統計学	2 2 2														4単位以上 修得
	AS	● 音楽 ● 健康科学 ● スポーツ科学 ● スポーツ実技	2 2 1 1	● 美術 ● 体を動かす楽しみ	2 1														2単位以上 修得
	留學生	● 日本語 I ● 日本語 II	1 2	● 日本語 III ● 日本語 II ● 日本語 II	1 2	● 日本語 III ● 日本語 IV	1 1	留學生は日本語 IV 以外必修											留學生のみ 履修可能
全学共通科目		● 産学連携講座 I ● 産学連携講座 II		1 1	● コミュニティ・プランナー概論及び演習 ● 国○ グローバルインターンシップ	2 2	● コミュニティ・プランナー実践論 ● 国○ 学外研修	2 2	● コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	2							全学共通科目は 卒業要件単位に 含まない		
専門基礎科目	必修	● 人間発達学 ● 医療倫理学 ● 形態機能学 I ● 形態機能学 II	2 2 1 1	● 人間関係論 ● 形態機能学 III ● 薬理学 ● 公衆衛生学	2 1 2 2	● 病態学 ● 疾病論 I ● 疾病論 II ● 看護情報学 I	2 1 1 1	● 栄養学 ● 疫学 I ● 疾病論 III	2 2 1								必修科目を 含めて 23単位以上 修得		
		● 臨床心理学	2	● 学校保健論	2	● 保健行動科学 ● 家族社会学 ● 社会福祉学	2 2 2	● 看護情報学 II	1	● 保健医療福祉行政論 ● リハビリテーション学	2 2	● 応用看護情報学	1	● 疫学 II ● 代替療法	2 2				
	● 看護学原論	2	● ライフステージ看護学概論 I ● 看護技術論 ● 看護援助技術論 I	2 2 1	● ライフステージ看護学概論 II ● 看護援助技術論 II ● 看護援助技術論 III ● 看護援助技術論 I ● 成人看護援助論 I ● 老年看護援助論 I ● 基礎看護学実習	2 1 2 2 2 2 3	● 看護実践論 ● 地域看護学概論 ● 家族看護論 ● 母性看護援助論 I ● 小児看護援助論 I ● 精神看護援助論 I ● 在宅看護援助論 I	2 2 2 2 2 2 2	● 母性看護援助論 II ● 小児看護援助論 II ● 成人看護援助論 II ● 成人看護援助論 III ● 母性看護援助論 II ● 老年看護援助論 II ● 精神看護援助論 II ● 地域看護援助論 ● 看護マネジメント I ● 在宅看護援助論 II	2 2 2 2 2 2 2	● 母性看護学実習 ● 小児看護学実習 ● 成人看護学実習 ● 老年看護学実習 ● 精神看護学実習 ● 在宅看護学実習 ● 地域看護学実習	2 2 2 2 2 2 2	● 看護学研究法 ● 看護マネジメント II ● 緩和ケア論 ● 総合実習 ● 卒業研究	2 2 2 3 2					
	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2			
留學生	● 日本語 I ● 日本語 II	1 2	● 日本語 III ● 日本語 II ● 日本語 II	1 2	● 日本語 III ● 日本語 IV	1 1	留學生は日本語 IV 以外必修									留學生のみ 履修可能			
専門科目	必修	● 看護学原論	2	● ライフステージ看護学概論 I ● 看護技術論 ● 看護援助技術論 I	2 2 1	● ライフステージ看護学概論 II ● 看護援助技術論 II ● 看護援助技術論 III ● 看護援助技術論 I ● 成人看護援助論 I ● 老年看護援助論 I ● 基礎看護学実習	2 1 2 2 2 2 3	● 看護実践論 ● 地域看護学概論 ● 家族看護論 ● 母性看護援助論 I ● 小児看護援助論 I ● 精神看護援助論 I ● 在宅看護援助論 I	2 2 2 2 2 2 2	● 母性看護援助論 II ● 小児看護援助論 II ● 成人看護援助論 II ● 成人看護援助論 III ● 母性看護援助論 II ● 老年看護援助論 II ● 精神看護援助論 II ● 地域看護援助論 ● 看護マネジメント I ● 在宅看護援助論 II	2 2 2 2 2 2 2	● 母性看護学実習 ● 小児看護学実習 ● 成人看護学実習 ● 老年看護学実習 ● 精神看護学実習 ● 在宅看護学実習 ● 地域看護学実習	2 2 2 2 2 2 2	● 看護学研究法 ● 看護マネジメント II ● 緩和ケア論 ● 総合実習 ● 卒業研究	2 2 2 3 2	必修科目を 含めて 78単位以上 修得			
	選択	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2	● 看護学原論	2				
養護教諭教育課程 (卒業要件外)		● 教育学概論 ● 教育心理学		2 2	● 養育課程論 ● 教育相談の基礎と方法 ● 養護概説	2 2 2	● 教職論 ● 健康相談活動 ● 道徳、特別活動及び総合的な学習と生徒指導	2 2 2	● 教育の方法 ● 特別支援教育	2 1	● 養護実習 ● 教職実践演習 (養護教諭)	5 2				26単位修得 (卒業要件外)			
履修条件	必修単位数	基盤：15単位 専門基礎・専門：20単位				基盤：2単位 専門基礎・専門：35単位 卒業要件外：10単位				専門：36単位 卒業要件外：6単位				専門：10単位 卒業要件外：10単位				144単位	
	選択必修単位数	専門基礎：2単位				基盤教育科目：8単位(「憲法」・「スポーツ実技」 「からだを動かす楽しみ」含む)				49単位				専門：2単位				8単位以上	
	履修単位数の上限	49単位(基盤教育科目35単位)				49単位				49単位				49単位				必要単位数：158単位以上	

1 看護学類について  
 2 看護学類の科目配当  
 3 卒業に必要な単位数  
 4 教育課程の特色  
 5 看護師教育課程  
 6 保健師教育課程  
 7 養護教諭教育課程  
 8 履修での留意事項等  
 9 履修モデル

1 看護学類について  
 2 看護学類の科目配当  
 3 卒業に必要な単位数  
 4 教育課程の特色  
 5 看護師教育課程  
 6 保健師教育課程  
 7 養護教諭教育課程  
 8 履修での留意事項等  
 9 履修モデル

## 9 履修モデル

履修モデルは、看護師教育課程、保健師教育課程、養護教諭教育課程の各教育課程と、国際看護プログラム、災害看護プログラムの各プログラム修了のために必要な科目とその単位数を、科目配当年次ごとに示したものです。また、各教育課程とプログラムにおける必修科目、推奨科目、資格取得に必要な科目を明記しています。各教育課程において将来目指すべき看護職像や学修目的に適した履修を行っていきましょう。

### 【看護師教育課程】

基盤教育科目と並行して、専門基礎科目および専門科目を学修し、科学的根拠に基づく創造的・実践的な専門教育により、病院をはじめ、さまざまな保健医療福祉機関で看護活動が展開できる基礎的能力を有する看護専門職を目指す。

### 【保健師教育課程】

看護師教育課程を基盤に、公衆衛生看護の基礎となる知識や、地域で生活する人々および地域社会が抱える健康課題の解決に向けて主体的に保健活動を展開できる実践能力を修得し、自治体や企業等、地域で活躍できる保健師を目指す。

### 【養護教諭教育課程】

看護師教育課程を基盤に、看護学を基礎とした科学的思考と根拠に基づいた支援方法を学び、加えて教職や養護に関する知識や技術を修得し、小・中・高等学校や特別支援学校等で活躍できる養護教諭を目指す。

### 〔国際看護プログラム〕

基盤教育における英語教育および国際看護に関わる専門科目での学修と各自の学習到達目標に基づく主体的な取り組みをとおし、英語実践力の向上に加え、国際理解、異文化理解を深め、グローバルな視野をもつ国内外で活躍できる看護職を目指す。

### 〔災害看護プログラム〕

災害看護に関わる専門科目での学修と各自の学習到達目標に基づく主体的な取り組みをとおし、多様な場で、災害各期において支援ができる看護の基礎的知識と技術を身につけた看護職を目指す。